

(4) 屋外広告物

① 現状

- ・ 国道5号沿道やリゾートエリアでは、高さや表示面積の大きな広告物が目立つ状況です。
- ・ 駅前通りでは広告物の統一感に乏しい印象があります。地上広告や屋上広告はあまり目立たず、低層の壁面に設置されている程度です。
- ・ 突き出し看板は小型のものが大半で、中には意匠性の高い看板もあります。
- ・ 飲食店街では、多彩でにぎやかな広告物が目を引きまます。
- ・ リゾートエリアでは、派手な外観や大音量を伴うキッチンカーを見ることがあります。
- ・ 町全体として、屋上に設置している広告物や大型の突き出し看板は少ない印象です。

② 基本方針

人の目線を基本とした建物と調和の取れた配置、街なみや自然景観を活かすよう、個数や大きさを抑えた高さ、意匠とし、景観軸や視点場から羊蹄山・ニセコ連峰の山並みへの眺望や、周辺景観との調和に配慮します。

■屋外広告物設置の基本方針

項目	方針
位置・規模	・ 羊蹄山やニセコ連峰など地域の景観資源に対し、周辺や視点場からの眺望を阻害しないように掲出する。 ・ 掲出面積や設置個数を抑え、道路等の快適な見通しの確保、自然・農林景観や街なみとの調和を保つ。
意匠・形状	・ 自然や農林景観、街なみといった周辺景観との調和を図る。 ・ 建築物等から突出する屋上広告物や突き出し看板は、特に眺望や周辺景観との調和に配慮する。 ・ 老朽化広告物については、撤去や更新・修繕により、安全と美観を確保する。
色彩	・ 掲出面における原色や高彩度色(=けばけばしい色)の使用面積は極力抑える。 ・ 安全上の理由など、やむを得ない場合を除き、蛍光色や反射材の類は使用しない。 ・ 調理・販売車や広告宣伝車(移動広告物)は、華美な装飾や色彩を抑える。
照明等 (移動広告物を含む)	・ 屋外広告物に発光装置又は照明装置を付随する場合は、必要最小限とし、光源は点滅又は回転しないものとする。 ・ 大音響を伴う広告は掲出しない。

■けばけばしい色の設定 ※以下の数値以内ならば、基調となる部分に使用できる

色相 ▶	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP
彩度 ▶										
屋根	8	8	6	4	6	4	6	4	4	4
外壁	8	8	6	4	4	4	4	4	4	4